

平成25年度決算審査特別委員会で決算を認定

歳入総額 70億5,215万2千円・歳出総額 68億5,573万2千円

齋賀弘孝氏を決算特別委員長に選任し、2日間の審査を経て、原案通り認定しました。一般会計決算額は、58億1,080万1千円（歳出）でした。決算額の詳細は、10月号の「ほろのべの窓」に掲載していますので、主な質疑応答のみを記載します。

平成25年度幌延町 一般会計決算審査

《総務費》

(植村委員) 職員のスキルアップ研修事業の評価を伺いたい。

(岩川総務課長) 昨年度は、政策の企画提案のスキルアップを行った。実際に、26年度の政策として予算化されたものに、エコカー導入や急速充電器の設置、ウオークラリーの運動定着事業がある。

平成25年度幌延町 特別会計決算審査

《幌延町立診療所特別会計》

(西澤委員) 医師確保対策費に関して、非常勤医師の確保は今後も大丈夫なのか。

(宮本町長) 現在、旭川医大脳外科の医師体制は11名と聞いている。現段階では幌延町の診療所に対し、出来るだけ派遣してくれると伺っている。

(鷺見委員) 診療所会計の

経営収支は大変だと思う。補助金も年々減っていく中で、今後の診療所としての考え方を伺いたい。

(宮古診療所事務長) 町立病院時代から見るとかなり減額になっており、交付税収入を見ると実質赤字は5千万円〜6千万円程度となっている。現在も経営の合理化に努めているが、年間を通して町民の医療と健康を守る一次医療機関としての役割を担っていることを考えると、現在の繰入金額は致し方ないと思っている。

《幌延町国民健康保険特別会計》

(鷺見委員) 昨年から2年続けて国民健康保険税の最高限度額を上げてきたが、収支の好転はみられない。基本的に国保会計をどう維持して行こうとしているのか、お聞きしたい。

(藤田町民課長) 今国保税の負担率がどうなっているか、全国的なデータが示されている。全国的に所得に占める税の割合は9・3%

程度となっているが、道内では12・3%となっており、北海道の国保税の所得に対する負担割合が多いというデータになっている。こういう地域間の格差を埋めるため、昨年プログラム法が成立し制度化された。29年度を目的に協議している最中である。

(鷺見委員) 自営業者が減少している中、幌延町において是一般会計からの繰入を含め、減免を的確にやる

ことが必要ではないか。(藤田町民課長) 法定外繰出しということだが、現在、大都市圏でも施策として行っている所がかなりあるのが現状だ。私共のような小さな自治体では、国保というものは相互扶助だから負担に限度があるので、今後その制度を支えるためどうするべきか議論をし、税率を求めて行くべきと考えている。

■ 行政報告

8月23日に北海道に接近後、動きが遅くなった低気圧の影響により、24日は局地的に50年に一度の大雨となった。宗谷管内の14の地域気象観測所の内、6つの観測所で観測史上第1位となる降水量を記録するなど、豪雨による被害が各地で発生した。

本町では、23日から24日にかけての降水量は143ミリに達し、下沼地区や字幌延地区を中心に、牧草地41ha、デントコーン畑約9haが冠水する

被害が発生した。また、町道や牧草地への取り付け道路が陥没するなど被害が発生したが、幸いなことに人的、物的被害がなかった。

■ 教育行政報告

学校におけるフッ化物洗口の取り組みについて推進してきたが、実施にあたり保護者、児童生徒の希望調査を基本として実行し、その割合は全児童生徒の89%となり、今後とも効果的な虫歯予防対策として啓発していく。